



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 松田産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田芳明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CSR・IR部長 (氏名) 田中善則 TEL 03-5381-0728
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	208,650	42.3	10,315	175.6	10,938	176.1	7,623	153.1
2026年3月期第1四半期	146,627	31.2	3,743	19.7	3,962	6.2	3,012	16.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 8,309百万円(223.5%) 2026年3月期第1四半期 2,568百万円(△29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	294.99	—
2026年3月期第1四半期	116.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	212,503	126,062	59.0
2026年3月期	227,771	119,049	52.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 125,358百万円 2026年3月期 118,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2026年8月7日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	380,000	31.8	16,300	102.2	17,100	102.6	11,900	95.5	460.49
通期	740,000	7.6	28,500	27.0	29,600	25.7	20,600	23.0	797.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2026年8月7日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	26,908,581株	2026年3月期	26,908,581株
2027年3月期1Q	1,066,703株	2026年3月期	1,066,675株
2027年3月期1Q	25,841,893株	2026年3月期1Q	25,917,128株

※当社は株式報酬制度「役員報酬BIP信託」を導入しており、期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2027年3月期1Q 75,200株、2026年3月期 75,200株）を含めております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復が見られた一方、中東情勢の緊迫化やインフレ圧力の高まりなどにより、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで、国内外における生産拠点の整備・活用を推進し、貴金属原料の安定的な確保、製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、グローバルに展開する調達網を最大限に活用して、多様化する顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高208,650百万円（前年同四半期比42.3%増）、営業利益10,315百万円（前年同四半期比175.6%増）、経常利益10,938百万円（前年同四半期比176.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,623百万円（前年同四半期比153.1%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、引き続きAIデータセンター向け需要が牽引し、車載・産業機器・民生機器向け需要も緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当事業においては、宝飾分野は貴金属リサイクル取扱量が減少したものの、電子デバイス分野では増加し、貴金属相場が前年同四半期を上回る水準で推移したことなどにより、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は177,718百万円（前年同四半期比53.8%増）、営業利益は9,274百万円（前年同四半期比233.3%増）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、物価上昇などを背景として個人消費における節約志向が一段と強まるなど、需要面では厳しい市場環境が続きました。

このような状況の中で、当事業においては、水産品及び畜産品の販売量が減少し、売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、価格転嫁及び付加価値向上などによる利益率の改善が寄与し、営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は30,941百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は1,041百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ15,267百万円減少し、212,503百万円となりました。これは主として棚卸資産の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ22,280百万円減少し、86,441百万円となりました。これは主として買掛金、短期借入金、前受金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ7,012百万円増加し、126,062百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は14,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ476百万円減少となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は7,437百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益及び棚卸資産の減少による資金の増加と、仕入債務及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の181百万円の資金の増加に比べ7,256百万円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動で増加した資金は116百万円となりました。これは主として工場設備新設等の有形固定資産の取得による資金の減少と、投資有価証券の売却及び定期預金の払戻による資金の増加との差引によるものです。なお、前年同四半期の1,596百万円の支出に比べ1,713百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は8,083百万円となりました。これは主として短期借入金及び長期借入金の返済、並びに配当金の支払いによる資金の減少によるものです。なお、前年同四半期の1,299百万円の資金の増加に比べ9,382百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2026年8月7日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,564	14,025
受取手形及び売掛金	48,762	47,493
商品及び製品	45,252	41,955
仕掛品	875	1,257
原材料及び貯蔵品	46,145	32,907
未収入金	2,881	4,266
その他	12,239	12,992
貸倒引当金	△17	△3
流動資産合計	170,704	154,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,785	22,791
減価償却累計額	△8,968	△9,103
建物及び構築物（純額）	13,816	13,688
機械装置及び運搬具	22,110	22,517
減価償却累計額	△16,858	△17,220
機械装置及び運搬具（純額）	5,251	5,297
土地	16,944	16,955
リース資産	1,605	1,616
減価償却累計額	△1,028	△1,084
リース資産（純額）	577	531
建設仮勘定	3,823	3,324
その他	1,894	1,920
減価償却累計額	△1,542	△1,558
その他（純額）	351	362
有形固定資産合計	40,765	40,158
無形固定資産		
その他	3,005	2,879
無形固定資産合計	3,005	2,879
投資その他の資産		
投資有価証券	9,792	11,192
繰延税金資産	425	322
その他	3,165	3,148
減価償却累計額	△69	△74
その他（純額）	3,095	3,074
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	13,295	14,570
固定資産合計	57,067	57,609
資産合計	227,771	212,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,011	21,536
短期借入金	25,797	20,388
1年内返済予定の長期借入金	5,171	4,999
リース債務	241	236
未払法人税等	5,156	3,041
賞与引当金	2,003	988
未払金	1,333	1,145
前受金	15,218	6,660
その他	3,064	3,285
流動負債合計	83,998	62,282
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	20,803	19,636
リース債務	351	309
繰延税金負債	1,500	2,178
役員株式給付引当金	40	53
退職給付に係る負債	682	663
その他	1,245	1,217
固定負債合計	24,723	24,158
負債合計	108,721	86,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	103,986	110,313
自己株式	△1,688	△1,688
株主資本合計	109,866	116,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,338	1,943
繰延ヘッジ損益	2,112	1,878
為替換算調整勘定	4,514	4,743
退職給付に係る調整累計額	630	599
その他の包括利益累計額合計	8,595	9,165
非支配株主持分	587	704
純資産合計	119,049	126,062
負債純資産合計	227,771	212,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	146,627	208,650
売上原価	136,460	191,614
売上総利益	10,167	17,035
販売費及び一般管理費	6,424	6,719
営業利益	3,743	10,315
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	285	579
為替差益	—	140
その他	93	96
営業外収益合計	399	836
営業外費用		
支払利息	113	181
為替差損	50	—
その他	17	33
営業外費用合計	180	214
経常利益	3,962	10,938
特別利益		
投資有価証券売却益	—	203
特別利益合計	—	203
税金等調整前四半期純利益	3,962	11,141
法人税、住民税及び事業税	913	2,793
法人税等調整額	△24	622
法人税等合計	888	3,416
四半期純利益	3,074	7,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,012	7,623

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,074	7,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	605
繰延ヘッジ損益	50	△213
為替換算調整勘定	△543	186
退職給付に係る調整額	△6	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	35
その他の包括利益合計	△505	583
四半期包括利益	2,568	8,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,531	8,192
非支配株主に係る四半期包括利益	37	116

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,962	11,141
減価償却費	843	947
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△453	△1,014
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△27	△65
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10	—
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	—
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	13
受取利息及び受取配当金	△20	△20
支払利息	113	181
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△203
持分法による投資損益 (△は益)	△285	△579
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,701	1,281
未収入金の増減額 (△は増加)	△505	△1,384
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△705	16,187
仕入債務の増減額 (△は減少)	958	△4,505
未払金の増減額 (△は減少)	557	△19
その他	2,068	△9,666
小計	2,809	12,279
利息及び配当金の受取額	20	20
利息の支払額	△73	△146
法人税等の支払額	△2,575	△4,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	181	7,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	52
有形固定資産の取得による支出	△1,436	△256
投資有価証券の売却による収入	43	303
その他	△203	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,596	116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,550	△5,398
長期借入金の返済による支出	△1,158	△1,339
配当金の支払額	△1,036	△1,295
その他	△55	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,299	△8,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△319	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△435	△476
現金及び現金同等物の期首残高	11,428	14,501
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,993	14,025

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	115,526	31,101	146,627	—	146,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10	10	△10	—
計	115,526	31,112	146,638	△10	146,627
セグメント利益	2,782	961	3,743	—	3,743

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	177,718	30,931	208,650	—	208,650
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10	10	△10	—
計	177,718	30,941	208,660	△10	208,650
セグメント利益	9,274	1,041	10,315	—	10,315

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。